

TCL2019 最終節 清水建設ブルーシャークス戦 試合結果

1. 日時 1月19日(日) 11:30 キックオフ

2. 場所 秩父宮ラグビー場

3. 試合結果

釜石シーウェイブス		-	清水建設ブルーシャークス	
38		-	36	
前半	後半		前半	後半
1	5	T	3	2
1	3	G	2	2
0	0	PT	0	0
0	0	PG	1	0
0	0	DG	0	0
7	31	小計	22	14

FW: 1. 高橋(拓) 2. 吉田 3. ミッチェル 4. 上田 5. 山田 6. 木村 7. コテカ 8. 中野
BK: 9. 南 10. 中村 11. 小野 12. 伊藤(優) 13. ファンデンヴォルト 14. 加賀 15. レイ
Re: 16. マフィ 17. 延田 18. ホラニ 19. 王野 20. 高田 21. 村山 22. 村田 23. 星野

4. 試合内容

2020年1月19日(日)、最終節清水建設ブルーシャークス戦(以下、清水建設)が快晴の秩父宮ラグビー場で行われました。観客数は9,277人とたくさんのラグビーファンの中で、清水建設のキックオフで試合が開始されました。釜石は開始10分まで硬さが目立ち、釜石らしいプレーがみえず、0-10と清水建設に主導権を握られてしまいます。17分、敵陣10m付近でのラインアウトからモールを形成し、中野がモールサイドの隙を見逃さず、ゴール前までゲイン。ゴール前でフェーズを重ね、最後はミッチェルがディフェンスをものともせずトライラインを割り、7-10と迫ります。トライのまま流れに乗りたい釜石ですが、キックオフからの硬さが取れずミスやペナルティーを繰り返してしまい、なかなか敵陣でプレーすることができません。清水建設は、持ち前のアタック力を存分に生かし、19分と33分に立て続けにトライ。前半を7-22で折り返します。後半、釜石はキックオフからFWでのプレッシャーを与えることで、ペナルティーを誘い、敵陣でのプレーが続きます。7分、ゴール前で得たペナルティーからスクラムを選択。ジワジワとスクラムを押し込み、最後は中野がトライラインに飛び込みトライ。12-22と点差を縮めます。ハーフタイムでのピアースヘッドコーチの喝で目が覚めたのか、選手は前半の硬さも取れ、伸び伸びとプレーをしています。FWはボール持って前へ前へ、BKがピッチをワイドに使ってボール展開。今季の釜石が目指したラグビースタイルを実行していきます。12分、敵陣ゴール前で得たフリーキックから南が透かさずアタックを試み見事トライ。19-22と3点差まで迫ります。後半は完全に釜石ペースで進み、その後も16分、26分、34分と5連続トライで、38-22とリードを奪います。清水建設もリーグ戦まだ勝利がなく、何としても最終戦で結果を残したいはず。39分、42分と釜石のペナルティーとタックルミスから積極的にアタックを試みトライ。38-36と2点差まで追い上げられますが、最後はブレイクダウンでボールをターンオーバーし、今季3勝目を獲得。最終成績、3勝3敗1分けのリーグ4位でシーズンを締めくくりました。

5. ピアース HC からのコメント



チームの今季の目標を達成できるように 80 分間ベストパフォーマンスをしましょう、と選手に伝えました。しかし、前半はセットピースが思うように安定せず、プラン通りのラグビーをすることができませんでした。後半は、セットピースが安定し、本来のプラン通りのラグビーをすることができ、後半だけで 5 トライできました。残念ながら最後に集中力が切れてしまい 2 トライを与えてしまいました。トップレベルのチームと戦うためには、このような課題を個人だけではなく、チーム全体として修正できる力がこれから必要となってきます。

いつも日本で 1 番熱いサポーターに支えてもらい感謝しています。スタッフ、選手を代表して御礼申し上げます。これからも引き続き応援宜しくお願い致します。

We had hoped the team would provide us with an 80min performance that would define our season. When I say define, I mean a performance that showed all the good that we hoped to achieve this season. The first 40 was more a reflection of everything we hoped we had to have eradicated from our game, but unfortunately we were probably more lethargic than in any previous performance including the Kyuden game. The second half saw a dominance at set-piece that launched a positive next 37minutes scoring 31 unanswered points. We unfortunately switched off for a couple of minutes letting a very competitive Shimizu side score the last 14points. If we are going to achieve our goal of Top League, we are going to need to become more ruthless in our approach and more selfless. On behalf of all the Seawaves rugby playing members and staff I thank you for all that you sacrifice in support of us and hope that you will continue to support us in our objective to again play at the top level.

6. 小野キャプテンからのコメント



今シーズンも沢山の応援ありがとうございました。チームの目標であったトップ 4 に入り、シーズンを終えることができ非常に嬉しく思います。試合の内容につきましては、前半ゲームプランを遂行できず失点を重ね、難しい試合となりました。後半はセットピースで圧倒し、落ち着いてプランを遂行できたことが勝利に繋がったと思います。多くの反省が残る試合となりましたが、勝って反省できることをポジティブに捉えて来シーズンに繋げていきたいと思います。今後とも応援の程よろしくお願い致します。

7. 中野キャプテンからのコメント



沢山のご声援ありがとうございました。最終戦をしっかりと勝って終わろうとチーム全員で試

合に臨みました。前半はセットプレーや簡単なミスでボールを失ってしまい、思うようなラグビーができませんでした。後半はしっかりと切り替えようと声を掛け合い、セットプレーからプレッシャーをかけたことにより、勝利に繋がったと思います。今シーズンのチーム目標であった4位を達成できて良かったですが、チームとしては課題が沢山あります。この結果に満足する事なく、常にトップリーグを意識しながら来シーズンを戦いたいと思います。今シーズンも多大なるご声援、サポートをありがとうございました。

8. 山田選手からのコメント



今シーズンもたくさんの応援ありがとうございました。シーズン最終戦となったこの試合には、本当にたくさんの方々が応援に来てくださり、改めて釜石シーウェイブスというチームが、いかに愛されているかを感じました。試合は良くも悪くも今シーズンのシーウェイブスが出た試合となりました。前半は清水建設さんのアグレッシブさを受けて悪い流れの中で、みんなが「誰かやってくれるだろう」という人任せのマインドになっていたように感じました。後半は対照的に、FWが1つの方向を見てそれぞれが自分の仕事に集中できたことで、セットピースからプレッシャーをかけることができました。終盤に立て続けにトライを与えてしまいましたが、それまでの時間に、それでもなお逆転されないだけの点差をつけていたことが勝因だと思います。良いシーウェイブスである時間を長くすることがこれからの課題です。より良いラグビーをお見せできるように頑張ります。

9. 南選手からのコメント



いつも応援ありがとうございます。前半は思い通りの試合運びができませんでしたが、後半はFW陣が前に出てくれたことでスコアをすることができました。今シーズン出た課題や強みを活かし、来シーズンに向けていい準備ができるよう改めて精進していきたいと思いますので今後とも変わらぬご声援のほど宜しくお願い致します。

10. 加賀選手からのコメント



いつも多くの熱い応援をありがとうございます。今シーズンの目標であった4位で終わるためには絶対に負けられない試合でしたが、前半から苦しい展開が続いてしまいました。後半は前半での課題を修正し、なんとか勝ちきることができました。そして何よりサポーターや応援してくださっている皆様に勝利を届けることができうれしく思います。今シーズンも熱い応援をありがとうございました。来シーズンも宜しくお願いします。

11. ファンが選ぶシーズン MVP 賞 小野キャプテンのコメント



ファンが選ぶシーズン MVP 賞に選出いただき、本当に嬉しく思います。ファンの皆様の声援のおかげで、チーム最高順位の 4 位でシーズンを終えることができました。来シーズンもよろしくお願いたします。

12. FW MVP 賞 山田選手のコメント



チームからこのような賞をいただき大変嬉しく思います。また、僕のチャレンジを受け入れ、サポートしてくれた家族、温かく迎え入れてくれたチーム、加入したばかりの頃から熱心に応援してくださったサポーターのみなさまをはじめとした周囲の方々へ、改めて感謝の意を表したいです。慣れない環境で心身共に辛いこともありましたが、周囲の方々への感謝とそれに報いたいという気持ちが原動力になりました。釜石で過ごす時間を大切に、これからも頑張ります。

13. BK MVP 賞 南選手のコメント



今回受賞できたことを素直に嬉しく思います。もっとレベルアップできるよう、更に努力していきたいと思いますので、今後とも変わらぬご声援のほど宜しくお願致します。

14. Breakthrough 賞 加賀選手のコメント



Breakthrough 賞を頂きました。この賞は、試合で私を起用してくれたコーチ、スタッフ、チームメイトや試合中に熱く応援してくれるサポーターの皆様、みんなのおかげで受賞できました。来季もこの賞に恥じぬように、精進していきますので、引続き応援お願致します。

以上